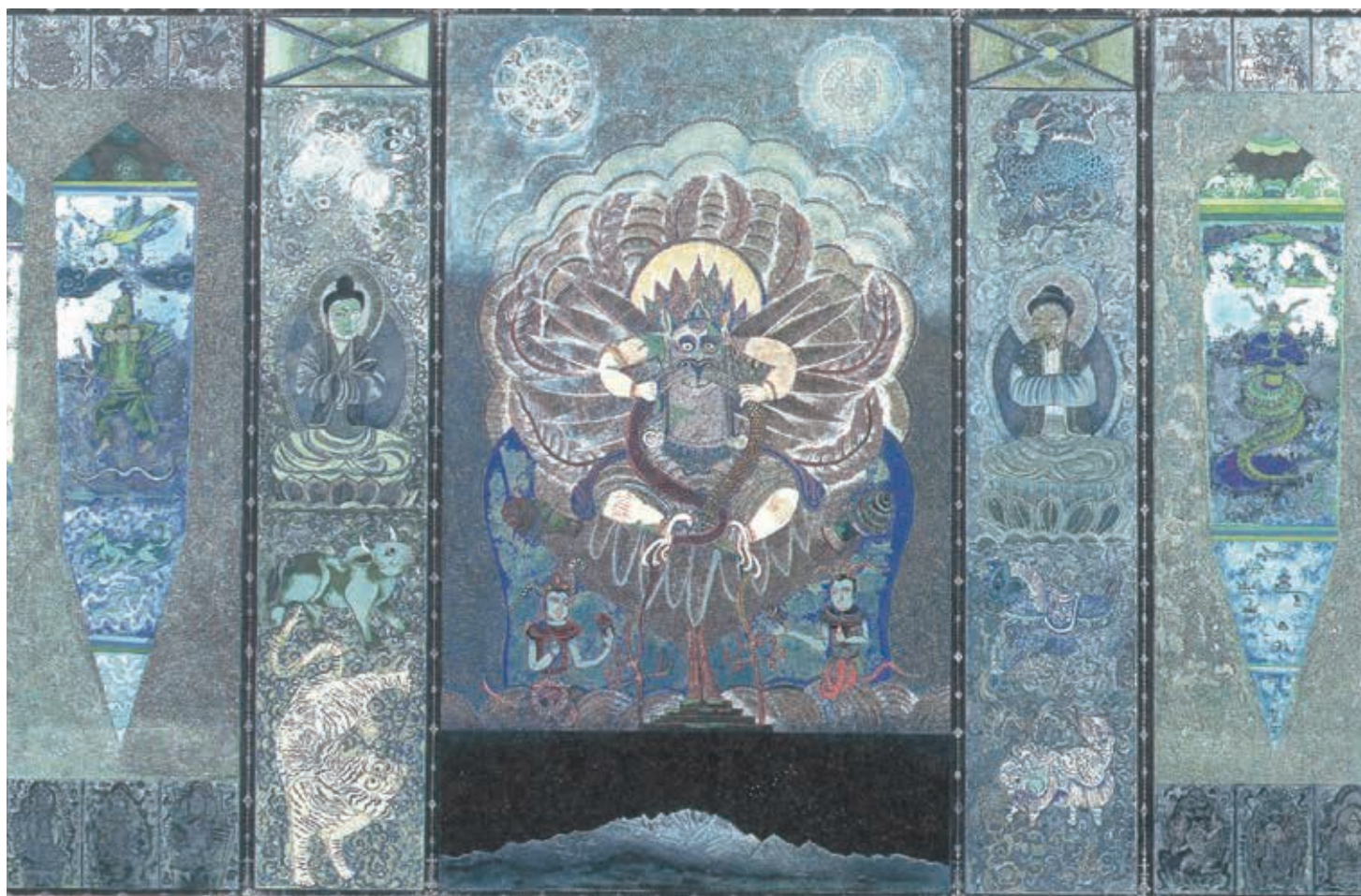


はままつ 市議会だより

第203号

令和7年2月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

◎11月定例会のあらまし	P2
◎可決した主な議案	P3
◎常任委員会の状況	P4
◎代表質問	P5
◎一般質問	P6

《東巴絵図考》^{トンパ} 1999年 高畑郁子 作
豊橋市美術博物館 蔵

秋野不矩美術館特別展
秋野不矩と高畑郁子ーインドとの邂逅ーより

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索

スマートフォンはこちらから →



11月
定例会

一般会計65億400万円の補正予算を可決

災害復旧費やインフラ関連に重点

11月定例会は、11月22日から12月20日までの29日間にわたって開催しました。

◎議案上程

11月22日の本会議では、6年度一般会計補正予算など、50件の市長提出議案を上程し、所管の常任委員会に審査の付託をしました。続いて、請願2件を上程し、紹介議員の趣旨説明の後、所管の厚生保健委員会及び市民文教委員会に審査の付託をしました。**29日**の本会議では早期議決が必要な職員などの給与改定に関する議案4件について、総務委員会及び市民文教委員会の両委員長から審査の経過と結果が報告された後、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

◎代表・一般質問に15議員

12月6日の本会議では、3会派の代表議員が代表質問を、**12月9日、10日及び11日**の本会議では12人の議員が一般質問を行い、市の施策について考えをたしました。

また、**11日**の本会議では物価高騰の影響を大きく受ける住民税非課税世帯及び子育て世帯へ給付金を支給することを主な内容とする6年度一般会計補正予算など、議案2件を追加上程し、市長から提案理由が説明された後、所管の厚生保健委員会及び建設消防委員会に審査の付託をしました。

◎市長提出議案及び意見書を可決

12月20日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から7議案に対する反対討論があり、採決した結果、市長提出議案48件は原案のとおり可決し、「安心して医療が受けられ、健康が守られるように国民健康保険料の改善を求める請願」など請願2件はいずれも不採択となりました。

また、教育長及び人事委員会委員選任案、人権擁護委員候補者推薦案に同意したほか、議会提出議案として「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」など2件を可決し、その実現を国に対して要望しました。



みやざきたし
再任された宮崎 正 教育長(左)

議会活動の経過

4日	3日	〔2月〕	14日	9日	〔1月〕	20日	19日	13日	12日	11日	10日	9日	6日	5日	〔12月〕	29日	28日	22日	20日	15日	12日	7日	5日	〔11月〕
特別委員会	大型公共施設建設	各常任委員会	各常任委員会	議員定数のあり方調査会	議員定数のあり方調査会	本会議(採決・11月定例会閉会)	本会議(採決・11月定例会閉会)	地方創生特別委員会	各常任委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	議会運営委員会	議会運営委員会	本会議(採決)	市民文教委員会	本会議(11月定例会開会・議案上程)	地方創生特別委員会	議会運営委員会	各常任委員会	議員定数のあり方調査会	地方創生特別委員会	地方創生特別委員会

可決した主な議案

6年度一般会計補正予算

- ◆令和6年台風第10号の被害を踏まえた災害復旧費の追加で早期復旧を図ります。
11億3000万円



法面が崩壊した市道春野サルゴダ大時線

- ◆国道152号池島・大原間の整備で三遠南信自動車道の整備を加速します。
2億3010万円



整備中の国道152号(池島・大原区間)第5工区

- ◆次年度の学級編制に伴い教室を整備し、教材備品を購入します。
2億2352万円

- ◆難病患者医療制度等電子化システム改修で医療事務コストの削減と患者の利便性向上を図ります。
1627万円

- ◆かわな野外活動センター天体望遠鏡駆動装置を更新します。
300万円



かわな野外活動センターの天体望遠鏡

- ◆LINEチャットボットを活用した連絡ごみ収集申込時の電子決済手段を拡充し、市民の利便性向上を図ります。
108万円

勤労福祉施設の大規模改修

●工事請負契約の締結

勤労青少年ホームに勤労会館の一部機能を統合する整備とともに、老朽化した建物の長寿命化を図る大規模改修を実施します。

36施設の指定管理者を指定

●指定管理者の指定

なゆた・浜北、浜松アリーナ、浜松城公園、佐鳴湖公園、都田総合公園など36施設の指定管理者を指定します。

可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

- ◆使用済み太陽光発電パネルのリサイクル義務化に伴う課題への対応を求める意見書

常任委員会の状況

12月12日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会



厚生保健委員会



環境経済委員会



建設消防委員会



市民文教委員会



指定避難所体育館スポットクーラー整備事業費について

当局説明

指定避難所のうち、小中学校と同様に平常時の市民利用が多い市管理の4体育館に、各2台、合計8台の大型スポットクーラーを整備するものである。

質疑 設置対象ではない避難所の対応は。

答弁 利用者の少ない体育館や遊休施設の避難所については、災害が起こった場合、協定に基づき、レンタル業者からスポットクーラーを調達して対応していく。



大型スポットクーラーの例

学習支援事業の拡充について

質疑 支援対象者を高校生まで拡充する理由は。

答弁 現在の対象は中学3年生までとなっており、進学のために継続して利用したいという声が寄せられていた。また、5年度に実施した「浜松市子どもの生活実態調査」の結果などから、大学等への進学希望があり、支援のニーズがあった。加えて、6年度から国において、自治体が実施する学習支援に登録している方に、大学等の受験費用などを助成する事業も始まったため、高校生を学習支援の対象に追加するものである。



支援対象が高校生まで拡充される学習支援事業

連絡ごみ処理手数料電子決済拡充事業について

質疑 7年4月から開始するクレジットカード及びPay Pay決済の利点は。

答弁 受付センターへの問合せの分散や、コンビニ納付より手数料が安いことである。

浜松イノベーションキューブ・インキュベーションマネージャー業務委託について

質疑 浜松新事業創出型事業施設「Hi-Cube」から自立した企業数は。

答弁 5年を上限に賃料を補助しており、約80社が事業を軌道に乗せ、自立している。



市が入居者を支援する「Hi-Cube」
提供：(独)中小企業基盤整備機構

動物園給排水設備等改修事業費について

質疑 債務負担行為の期間の延長で入札不調が解消できるのか。

答弁 1者で全ての工事に対応できないことも考えられるため、工事を分けて発注するなど入札方法を検討していく。

佐鳴湖公園の指定管理者の指定について

質疑 漕艇場の管理や利便性向上における課題は。

答弁 施設が老朽化していることから、第一艇庫改修工事の設計を行っており、7年度に改修工事を行う予定である。



改修工事を予定している佐鳴湖漕艇場第一艇庫

水窪地域におけるローカルコップ構想推進事業について

質疑 事業を実施する人材の募集で、重視することは。

答弁 6年度に作成された水窪ブランドデザインを理解し、実装できる資質のある人材であることを重視している。

学校用非常食配備事業について

質疑 災害発生時に学校から帰宅困難となる児童・生徒の非常食として米粉クッキーを配備することだが、保存期間が切れる前の有効活用は。

答弁 毎年少しずつ入れ替えるローリングストック方式を採用し、使用されなかった分は防災教育に活用する。



アレルギーにも配慮された米粉クッキーの例

代表質問

12月6日には、会派を代表して3人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
松本 康夫

市債残高の削減から積極財政への転換を

質問 資産老朽化など様々な課題への挑戦と投資が急務である。財政において市債残高削減に固執せず、必要な投資や将来の課題への対応を優先すべきと考えるが、次期中期財政計画の考え方はどうか。

答弁 現在の中期財政計画は規律ある財政運営の下、不測の事態が生じて住民サービスに安定的かつ継続的に提供できる強固な財政基盤の構築を目的に策定し、市債残高の削減を主目標に進めてきた。次期計画では、人口減少・少子高齢化対策、

地域活性化、脱炭素化を進めつつ都市基盤の整備にもしっかり対応が必要であり、諸施策の推進を下支え可能なものとする必要がある。財政の持続可能性や健全性に配慮しつつ必要な投資や施策に対応できるように検討していく。

その他の質問

- ① 市長が描く10年後の本市の理想の姿は
- ② 地域公共交通の再構築に国制度の活用を
- ③ 新たなシンボル動物で動物園の再生を



浜松市動物園で飼育されているニシローランドゴリラの「ショウ」



市民クラブ
鈴木 真人

遠州西ヶ崎駅を交通結節点として整備を

質問 浜松環状線に近接する遠州西ヶ崎駅の高架化後、当駅にバス・タクシーのロータリーを設けるなど、交通結節点として活用してはどうか。

答弁 現在進めている浜松環状線整備に伴う遠州鉄道の高架化事業によって、遠州西ヶ崎駅周辺の地域の分断や交通渋滞など交通環境の課題が解消されるとともに、新たな土地利用が見込まれている。そこで、6年度から当駅周辺を含む交通ネットワーク沿線における新たな土地利用の可能

性に関する調査などを実施している。今後は、高架化事業との連携を図りつつ、新たなバス路線の可能性について検討を行うなど、交通事業者とともに交通結節点の機能向上につながる取組を進めていく。

その他の質問

- ① 子どもアドボカシーの普及啓発を
- ② データ連携で切れ目のない子育て支援を
- ③ 食材価格高騰に対し給食への追加支援を



物価高騰のため食材選定に苦心している学校給食



創造浜松
関 イチロー

金利上昇が浜松市政に与える影響は

質問 金利の上昇による公債費への影響額とその対策は。

答弁 日本銀行の金融政策決定会合により、6年3月にマイナス金利が解除された。また、7月には政策金利が引き上げられ、金利の上昇基調が続いており、10年国債の金利は、1月はじめに0・619%であったが、10月末には0・933%となった。

金利変動が及ぼす公債費への影響額は5年度借入実績額344億円で試算すると利息が2.9億円増加し、金利上昇の影響額は小さいものと

はいえず、その対策は必要である。一方で、金利の動向を的確に予測することは不可能であるため、リスクの低減が重要であり、借入時期や借入先の分散、多様な償還方法によるリスク管理に努める。

その他の質問

- ① 不登校児童・生徒へ適切な支援の実施を
- ② 特別委員会の提言書を踏まえた施策は
- ③ 教員の多忙化解消のための方策は



学校における働き方改革により教員の多忙化解消が望まれる

※子どもアドボカシー…子どもの意見や考えを尊重し、子どもが自分の思いや意見を表明できるように支援する活動。

一般質問

12月9日、10日、11日には、12人の議員が
質問を行いました



丸 英之
公明党

地方創生の重要な柱として観光産業の推進を

質問 浜松市総合計画基本計画において「国内外に通用する魅力ある地域資源の創造」を観光に関する政策として掲げているが、市長は本市での観光産業の位置づけをどのように捉えているのか。

答弁 地域経済発展への貢献度が高い観光産業は産業振興を図る上で重要である。本市には徳川家康公を始めとする歴史文化、豊かな自然環境や食など、どこにも負けない魅力ある観光資源が多くある。これらをさらに磨き上げることで、観光交流

人口が増加し、消費の拡大につながると考えている。
今後とも国内外の多くの人から選ばれる観光地域づくりを強力に進め、観光産業がもつ元気になることで、地域経済の活性化を図っていく。

その他の質問

- ① マイナ救急実証事業の状況と今後は
- ② 市営住宅空き住戸を学生や子育て世帯へ
- ③ 入場整理券の活用で投票しやすい環境に



期日前投票時に使用する宣誓書の記入欄を設けた投票所入場券の例



井田 博康
自由民主党浜松

早急にインターナショナルスクールの誘致を

質問 高度外国人材の受入れ強化に向け、インターナショナルスクールの誘致を積極的に進める方針が示されたが、誘致についてどのような学校を想定しているか、また誘致までのスケジュールはどう

答弁 本市が誘致を目指すインターナショナルスクールは、幼児期から高校年代までの子どもが英語による授業を受けることができ、卒業時には、日本や海外の大学受験資格を有することができると国際的な認定を受けた教育

施設を想定している。現在、市が所有する施設の中から候補地を選定しており、今後は候補地が決まり次第、契約方法や価格など必要な諸条件を整理し、6年度内を目途に、運営事業者の公募を開始していく。

その他の質問

- ① 校庭や公園に表面貯留施設の整備推進を
- ② 市場再整備後の余剰地に賑わい創出を
- ③ ALT増員で外国語教育の充実を



ALTによる中学校での外国語授業風景



辻村 公子
自由民主党浜松

道路除草作業の取組状況と今後の方針は

質問 中央分離帯からの雑草が生い茂り、自動車走行の妨げになっている状況や、景観上好ましくない状態が見受けられる。中央分離帯や歩道側の植樹帯及び縁石周辺部の除草作業の取組状況と今後の方針は。

答弁 国県道や交通量の多い市道では、年間に二、三回の道路除草を実施している。気候変動の影響を受け、6年度は除草の回数や範囲を増やすとともに、コンクリートや舗装の目地部に防草シールなどを用いた防草対策を

試験的に実施している。今後も、道路除草を実施する一方、防草対策についても、経費の負担軽減につながる効果的な対策を検討・実施するとともに、他都市の取組事例を参考に、景観に配慮した工法も研究していく。

その他の質問

- ① 健康宣言取組でも健康経営優良法人に
- ② 各避難所に必要な物資の分散備蓄を
- ③ フェアトレードタウンとして支援充実を



縁石周辺部に繁茂する雑草と除草作業後の歩道(池川富塚線・中央区)



花井 洋介
市民クラブ

公用車でカーボンニュートラルへの貢献を

質問 本市は公用車使用に伴う二酸化炭素排出量の削減を図るため、計画的に電気自動車の導入を進めているが、目標達成に向け、どう進めていくか。

答弁 本市は浜松市地球温暖化対策実行計画に基づき、公用車約1300台のうち、12年度までに約820台を電動車とし、その半数を電気自動車とすることとしているが、6年3月末時点の進捗率は約2割に留まっている。特に電気自動車の導入拡大に向けては、充電設備の整備や電力使用量の

の管理などが課題となっている。

リース期間を考慮すると8年度から本格的に電動車の導入を進めていく必要があることから、6年度中には電気自動車の導入方針とともに電動車全体の導入計画をまとめていく。

その他の質問

- ①部活動地域移行へ向けて学校にも支援を
- ②中学生未来議会参加者と継続的な取組を
- ③遠州灘海浜公園相撲場の老朽化対応を



遠州灘海浜公園内の相撲場



鈴木 恵
浜松市政向上委員会

当事者視点による指針のスパイラルアップを

質問 浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針を障がい者や子育て当事者などの声を聴いて、スパイラルアップしていくべきと考えるがどうか。

答弁 浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針は制定後、関係法令の整備基準との整合を図ってきており、6年度は、子育て世代などの利用者にアンケート調査を実施し、子育て環境の向上に向けて改訂する。

今後についても、社会環境の変化に対応した指針とするため、障

がい者も含めた当事者の意見を聴き、改訂を行っていく。また、新築等や大規模改修工事を行う際には丁寧に利用者の意見を聴くことで、安全・安心で誰もが利用しやすい公共建築物の提供に努めていく。

その他の質問

- ①流出対策に女性活躍へ向けた意識改革を
- ②新川再生を含めザ・ゲート跡地の活用を
- ③ごみのポイ捨て対策に官民連携で取組を



佐鳴湖の堆積ごみ(段子川終点付近)

※スパイラルアップ…施策や措置の内容について当事者参加のもと検証をし、その結果に基づいて新たな施策を講じることによって、段階的に発展を図る考え方。



中野 和幸
自由民主党浜松

水産資源確保のためブルーカーボンの活用を

質問 二酸化炭素吸収やアサリ育成に寄与するため、ブルーカーボンの積極的な活用に取り組む考えは。

答弁 地球温暖化への対策が求められる中、水産業においても環境負荷低減の取組の推進が必要である。浜名湖では主にアマモが海の二酸化炭素を吸収する役割を担っており、アマモ場は稚貝の定着などアサリ減少対策への効果が期待されている。近年潮流の変化等によりアマモ場は減少しており、市はアサリなどの資源回復を目的

にアマモの増殖事業に支援をしてきた。今後、漁業活動への影響も配慮しつつ、本市、湖西市と漁業協同組合で組織する浜名湖地区水産振興協議会でアマモの増殖によるブルーカーボンの積極的な活用を検討していく。

その他の質問

- ①高齢社会の不安解消のための対策を
- ②篠原地区に整備する道の駅の進捗状況は
- ③弁天島海浜公園再整備の現状と今後は



浜名湖の代表的な風景である弁天島海浜公園南側の湖上にあるシンボルタワー

※ブルーカーボン…大気中の二酸化炭素が海に吸収され、海藻などに貯蔵された炭素。



齋藤 和志
自由民主党浜松

三方原防風林を活用した防災インフラ整備を

質問 国土強靱化を推進する中で、三方原防風林の一部を貯留施設として活用・整備し、三方原地域の安全・安心を確保する考えはないか。

答弁 三方原地域において、近年の豪雨では幹線排水路と国道257号の交差点などで浸水被害を確認しており、原因に応じて排水路の改修を行うなど局所的な対策を進め、安全・安心の確保に努めている。今後は、流域における土地利用の変化や、年々激しさを増している降雨の状況を見極め、

流域全体の河川の流下能力を検証する中で、三方原防風林を活用した貯留施設整備の必要性を検討していくが、まずは下流河川の状態と照らし合わせた上で、排水路の維持修繕や改良を行うことで浸水被害の軽減を図っていく。

その他の質問

- ①ゾーン30プラスの導入に向けた考えは
- ②終活に関する包括的支援体制の整備を
- ③小学生向け副読本作成で消防団の広報を



枯れ松を伐倒した三方原防風林



酒井 豊実
日本共産党浜松市議団

新たに発生した医療空白地域への対策は

質問 天竜区竜川地区は、内科などの診療を行うクリニックが閉院し、医療空白地域となったが、対策はどうか。

答弁 現在、地元の医師会が、他地区の医療機関への紹介や訪問診療などを実施して、医療の空白を作らないように尽力している。本市でも、地域住民が身近な場所で受診できるように佐久間病院による巡回診療を、6年12月11日から毎月2回、地区の拠点施設である竜川ふれあいセンターで実施していく。今後、中山間地域

では医療機関の医師不足などにより、新たな医療空白地域が発生する可能性があることから、医療機器を搭載した医療Mass車両、電子カルテ情報の共有の導入などを検討し地域医療の確保を目指していく。

その他の質問

- ①物価高騰対策に市独自の生活支援を
- ②水道料金改定は市民への説明を丁寧に
- ③大輪橋の被災原因と復旧工事の進捗は



地域住民が身近な場所で受診できる巡回診療



湖東 秀隆
創造浜松

認定こども園化で市立幼稚園の存続を

質問 地域によっては市立幼稚園の存続を検討する必要があるが、園児数がある程度確保されている園では、将来的に園児数を確保するため、認定こども園化を進める考え方は。

答弁 5年に策定した浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針では、市立幼稚園の認定こども園への移行は、地域の実情や保護者などのニーズ、施設の状態などを踏まえ、合理的と判断した場合に検討するとしている。認定こども園化は、幼児教育・保育の提供

体制を確保する上でも重要な取組であると考えているため、保護者や地元自治会からの要望のほか、園児数の推移、地域の保育需要や民間園の需給状況など、効果や課題を十分に検証した上で、今後も慎重に検討していく。

その他の質問

- ①放課後児童会運営者に対する確認体制は
- ②発達に課題のある児童・生徒へ支援を
- ③道路ネットワークの整備方針の考え方は



未整備の都市計画路線(尾野高根交差点・浜名区)



露木 里江子
自由民主党浜松

本市の魅力向上に若い才能への伴走支援を

質問 本市は音楽の資源を生かして都市の魅力を高めてきたが、美術やアートの表現活動も活発である。多様な文化・芸術を生かした創造都市・浜松の実現に向けた市長の考えは。

答弁 本市では鴨江アートセンターや木下恵介記念館における市民の創作活動への支援や、浜松アーツ&クリエイションの設置など、文化の持つ創造性を都市の活力に結び付ける創造都市の取組を進めている。

今後は、特に若いアーティストやデザイナー

ー、クリエイターの創造的活動を活性化させていくことが重要であると考えている。創造都市・浜松として市民の多様な文化的創造活動を支援し、市民が主体となって文化を創造し、発展させていく都市を目指していく。

その他の質問

① 浜松医科大学に寄附講座の開設を

② クリハリスとヌー トリアへの対策を

③ 河川愛護活動における地域負担の軽減を



リモコン式草刈り機を活用した河川愛護活動



花井 和夫
自由民主党浜松

慰霊碑などの維持管理に市も対応の検討を

質問 戦没者慰霊碑などの現状と安全対策はどうか。また、学校など市有地にある慰霊碑等への対応はどうか。

答弁 戦没者慰霊碑などは、昭和30年代までに各地域で数多く建立され市内に194基確認されている。地元遺族会などが維持管理しているもので、危険が確認された場合は、修復や撤去など対策が講じられている。

老朽化が進んだ積志中学校の慰霊塔は、緊急対応として立入禁止の措置を講じた。慰霊碑などの安全管理は、

設置者が実施すべきものと考えており、他の市有地についても、慰霊碑に限らず石碑などの設置状況を調査し、管理者不明の石碑などのうち安全対策が必要なもの、国庫補助事業の活用も含め、対応を検討していく。

その他の質問

① 音楽創造都市の人材育成に向けた取組は

② 防災士会との連携で地域防災力の向上を

③ 公園協議会で魅力ある万斛庄屋公園に



Park-PFI事業者、地元住民、市の3者が協力して管理・運営されている万斛庄屋公園



柳川 樹一郎
自由民主党浜松

シビックコア地区へ本庁舎移転の検討を

質問 市役所本庁舎は老朽化し、本庁機能も分散配置されているため、災害対策本部機能が果たせない懸念がある。庁舎移転による本庁機能の集約や県浜松総合庁舎活用への考えは。

答弁 本庁舎は築44年が経過し、老朽化対策や、より一層の耐震性確保などの課題を認識している。

建設には多額の財政負担が伴うことから、デジタル社会進展による職員の働き方改革などを踏まえ、庁舎の在り方や市民の利便性も見極め、時期や規模、

位置などの検討が必要となる。また利便性や業務効率性を踏まえ区役所機能と併せ、分散する本庁機能の集約も有効である。シビックコア地区も候補地とし、県浜松総合庁舎活用も含め、今後県と調整していく。

その他の質問

① 浜松駅周辺の再整備で地域振興を

② 大河ドラマを基軸とする誘客策の実施を

③ 観光振興の推進で中山間地域の活性化を



シビックコア地区に立地する静岡県浜松総合庁舎

発行／浜松市議会 〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局 ☎053-457-2513
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。
ぜひ御覧ください。



豊橋市の日本画家、高畑郁子（1929-2023）は、インドとの出会いにより独自の画風を確立後も世界各地へ取材し新たな表現を試みた。

70歳で中国雲南省の世界遺産・麗江を訪れた高畑は現地の印象をこの作に表現した。麗江の少数民族・納西族は、何世紀もの間にもたらされたインド、チベット、中国などの文明要素が融合した独自の文化を持ち、自然崇拜を基本とする東巴教を信仰する。画面中央では神仙や神格化された動物たちがおどけた表情を見せ、中央下部には東巴の聖地・玉龍雪山と満天の星、そして左右外側には儀式で用いる木牌が配される。全体を覆う点描はうごめく無数の生命にも見え、万物に神が宿るとする東巴の世界観を表わすかのようだ。

紙上美術館
No.189

秋野不矩美術館ホームページ



所蔵品展 秋野不矩と高畑郁子 - インドとの邂逅 - より
1月25日（土）～ 3月16日（日）まで開催
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※月曜日は休館（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

今後の議会活動の予定									
〔2月〕									
12日	議会運営委員会	17日	地方創生特別委員会	19日	本会議（2月定例会開会・6年度関係議案上程）	21日	各常任委員会 危機管理・交通政策 特別委員会	25日	議会運営委員会
26日	本会議（6年度関係議案採決・7年度関係議案上程・施政方針）	28日	地方創生特別委員会	〔3月〕					
6日	議会運営委員会	7日	本会議（代表質問・一般質問）	10日	本会議（一般質問）	11日	本会議（一般質問）	12日	各常任委員会
13日	各常任委員会	21日	議会運営委員会	24日	本会議（7年度関係議案採決・2月定例会閉会）				